



認知症を学び地域で支えよう

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるもので、85歳以上では4人に1人はその症状があると言われています。そのため、まわりの人との関係が損なわれることもしばしばみられ、本人は不安になり、家族も疲れ切って共倒れしてしまうことも少なくありません。

しかし、周囲の理解と気遣いがあれば穏やかに暮らしていくことは可能です。

認知症の人への対応 基本姿勢

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

基本姿勢や具体的な対応は、認知症の人だけでなく、高齢者とかかわるときには気をつけておきたいポイントです！



具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
近づきすぎたり、シロシロ見たりせず、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守りましょう。
- 相手に目線を合わせてやさしい口調で
体を低くして目線を同じ高さにして対応しましょう。
- 余裕をもって対応する
自然な笑顔で対応しましょう。
- おだやかに、はっきりとした話し方で
高齢者は耳が聞こえにくい人が多いです。ゆっくり、はっきりと話すよう心がけましょう。
- 声をかけるときは1人で
複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけましょう。
- 後ろから声をかけない
唐突な声かけは禁物。相手の視野に入ったところで声をかけましょう。
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応
急かされたり、同時に複数の問いに答えることが苦手です。高齢者の反応を伺いながら対応しましょう。

*さあ、あなたも認知症のことを学んで『認知症サポーター』になりませんか？『認知症サポーター』については、広報ゆあさ2月号でご紹介します!!

「ぴあサロン」～家族のつどい～

1月20日（水）13:30～15:30 ふれあいプラザ

認知症の方を介護している家族のつどいです。「認知症の方の介護」という共通の内容で、心に溜め込んだ想いを話してみませんか。介護の工夫や情報も集まります。

会場内の話は外にもらさない事を条件に、色々な事を語り合いましょう。

詳しくは

湯浅町地域包括支援センター（健康福祉課内） ☎64-1120